

NPO法人医療制度研究会

第101回講演会と総会のご案内

「医師の働き方改革、患者のいのちと 医師のいのちを守るため次の一手をどうする」

1998年に発足した研究会は、日本の医療制度改革のために20年以上活動を続けてきました。しかし医療費抑制を優先する日本は、医療費も医師数も先進国最低レベルで、現在の日本の医師数はOECD人口当り医師数平均と比較すると10万人不足しています。本年3月には厚生労働省は「医師の働き方改革に関する検討会」で、医療提供体制を維持するためとして、過労死レベルの倍近い1860時間(月155時間)の時間外労働が容認されました。このままでは医療事故の減少は困難で、医師の過労死の発生もおおいに懸念されます。今後私たちはどのように対応すべきなのでしょう？

「次の一手」を討論します。皆さまのご来場を心からお待ちしております。(文責:本田 宏)

講演会開催前に総会を開催いたします。

日時：6月2日(日)午後1時30分～2時。

議題：平成30年度事業報告、収支決算報告、平成31年度予算案他。

日時：2019年6月2日(日) 午後2時～5時

司会：本田 宏

(NPO医療制度研究会副理事長、弘前大学医学部講師・
立教大学兼任講師、日本医学会連合労働環境検討委員会委員)

発表：14時～16時(各演者；25分)

1. 過労死の悲劇を繰り返さないために：中原のり子(過労死家族の会)
2. 勤務医が取るべき対応：中島恒夫(全国医師連盟)
3. 働き方改革で現場はどうなる(仮)：的場優介氏(産婦人科医師)
4. 医学生はこう考える：医学生(交渉中)
5. 実効性あるタスクシフトのために：立石実(聖隷浜松病院心臓血管外科)

休憩：16時～16時10分

ディスカッション：16時10分～16時50分

追加発言：「世界医師会ジュネーブ宣言の修正」平岡 謙(NPO医療制度研究会理事、元血液内科医)

場所：中央大学駿河台記念館320号室
東京都千代田区神田駿河台3-11-5 JR中央線・総武線御茶ノ水駅徒歩3分

参加費：資料代として1,000円、学生・研修医は無料 **締切りは平成31年6月1日(土)まで**

申込み：参加ご希望の方は、Webサイトの「申込み専用窓口」又はFAX 022-342-0605

E-mailにてお名前、御所属先、ご連絡先をご記入の上お申込みください。

問合せ先：事務局 坂詰 清宛 (E-mail:sakadume.kiyoshi@gmail.com)

主催：NPO法人医療制度研究会 <https://healthcare-focus.jp/>

981-0942 仙台市青葉区貝ヶ森1-2-6 事務局 坂詰 清 090-2955-1426

NPO法人医療制度研究会理事長 中澤堅次(栃木県済生会宇都宮病院名誉院長)